



## 10月の行事予定

9日(土) 運動会  
10日(日) 運動会予備日  
15日(金) 健脚活動③／内科検診  
18日(月)・19日(火) 入園見学会  
19日(火)～25日(月) 個別懇談  
21日(木) 歯科検診  
26日(火) 避難訓練  
28日(木) 誕生会

## 11月の行事予定

5日(金) ほし組おでかけ保育  
9日(火) そら組デイキャンプ  
12日(金) 健脚活動④  
16日(火) 青パト訪問  
(赤磐市青少年育成センター)  
19日(金) 誕生会  
24日(水) 総合避難訓練

### 就学時健診予定(そら組)

10月21日(木) 山陽東小学校  
10月22日(金) 磐梨小学校  
10月26日(火) 山陽北小学校  
11月 2日(火) 山陽小学校  
11月 4日(木) 桜が丘小学校  
11月11日(木) 山陽西小学校



### お月見

9月21日は中秋の名月ということで、お月見のブラックライトシアターをしました。真っ暗な部屋の中でブラックライトに照らされて光る動物たちに釘付けのこどもたち。次の日には「お月様丸かった」や「お団子食べたよ」など友だちや保育者と話して盛り上がりました。

## 丘の上知恵袋

### 子育て中&子育て経験のある職員に聞いてみました！



Q.夜中こどもがなかなか寝付けず寝かしつけに時間がかかります。どうしたらすぐに眠るようになりますか？

A. お風呂に入って体が温まった後に布団に入って寝るという習慣をつけたら眠るようになりました。

A. 布団に寝転がり、全身マッサージや頭皮・顔マッサージをしていい気持ちで満足な気持ちになるようにしています。

A. 電気を消して真っ暗にした状態でひたすらトントンと身体を揺すっていました。

A. 1日のリズム作りを大切に、毎日同じ時間に眠れるように習慣づけていきました。

園だより NO. 434号

# くまのこだより

令和3(2021)年10月1日(金)発行  
さくらが丘保育園



社会福祉法人 岡山こども協会

## 『給食先生2年目』

私が社会人になり、1年半が経とうとしています。私は栄養士なので、献立を考え、作ることがメインですが、こどもたちは私のことを「給食先生」と呼びます。初めの頃は“こどもたちのお手本にならなければいけない”と不安と緊張でいっぱいでした。

しかし、こどもたちと関わっていく中で、“お手本”ではなく、こどもたちと一緒に考え、楽しみながら成長していくことが大切なのだと考えるようになりました。

ある日、こどもたちと園で育てた二十日大根の収穫をしていると、様々な形・大きさの大根を見つけました。こどもたちはそれを見て、「これがお母さん大根で、これがお父さん大根！」と家族に見立てていました。また節分の日に給食で大豆が、おやつで鬼パンが出た時は、「今おなかの中で豆まきして、鬼退治しているんだね」と言っていました。こどもたちの何気ない発言には想像力がつまっていて、はっとさせられます。私たちが当たり前だと思っていることも、こどもたちにとっては初めて経験することで毎日が新鮮で、その姿を近くで見守れることにやりがいを感じています。

こどもたちと関わる機会は少ないですが、食事の様子を見に行ったり食育活動をする中で、いつしか「給食先生」から「石河先生」と名前でもらえるようになりました。こどもたちが元気いっぱい遊べるよう、安全で美味しい食事を作ることに責任感と緊張感を忘れず、こども目線でこどもたちと関わっていきたいと思います。

石河 知沙子



住所 赤磐市桜が丘東 6-6-704  
電話 (086)995-0104  
IP 電話 050-3494-4820  
FAX (086)995-0164





## はなぐみ

他職員がはな組に応援に入ると、人見知りのある子が顔を見て泣くのですが、担任が抱っこをすると安心したように泣き止みます。いつも関わっている職員が分かっている、尚且つ信頼関係がきちんとできているんだと嬉しく思いました。

生後6カ月のころ、身近の人かそうでないかが分かるようになり、人見知りが始まります。そんな成長の過程を“かわいらしいな”“分かるようになってきたんだね”と微笑ましく見ています。



## ゆきぐみ

園庭に、ハシゴを置いて遊びました。保育者は、ハシゴの間をまたぎながら渡りました。しかし、こどもたちを見ていると…

- ・ハシゴの間をまたいで渡る子
- ・ハシゴの上を渡る子
- ・ハシゴの外側を、大股開いてそのまま進む子
- ・四つ這いでハシゴを持ちながら進む子
- ・高這いでハシゴを持ちながら進む子

と、渡り方もたくさん。こんなにバリエーションがあるんだと驚かされました。

十人十色。みんな正解。自分の感じたままに。思うままに。



## にじぐみ

磁石のおもちゃのマグ・フォーマーであそんでいたこどもたち。通常の遊び方とは違うのですが、部屋にある鉄の所を探してどこにひっつくか試しながら、水道の下、机の足、流しの網などにひっつけていました。発見しながらあそんでいる姿にすごいなと思いました。

不思議に感じたことは、試してみないと気が済まない!そんなこどもたちの好奇心を大事にするために、大人が答えを言うのではなく、発見と一緒に楽しみたいと思います。

## つきぐみ

朝の自由あそびの合間、テラスにお茶を出して給水タイムを設けています。個々にコップを持って集まる中に、きちんと向きを変えてそろえてある靴が!きっとご家庭での積み重ねが習慣化しているのでしょう。小さなできごとでしたが、思いがけない場面に感謝し、こどもたちをほめたたえたのは言うまでもありません。

習慣って本当に大切ですよね。毎日なにげなくやっていることが、一人ひとりの力となるのですね。



## ほしぐみ

園庭でかけっこをしていた時のこと。トラックを回ってゴール手前のカーブで転んでしまったAさん。そこで気持ちが崩れてしまうかと思いきや、すぐに立ち上がりゴールまで走り切りました。友だちに負けてしまいくやしくて涙を流していたBさん。それでも諦めずに何度もかけっこに参加していました。かけっこをするこどもたちの姿からいろいろな成長を感じました。運動会当日はどんな姿を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

くじけてしまいそうな時に、どう気持ちを前に向けるか。逃げ出す時があったって、時間がかかってもいいんです。自分なりの方法を見つけてほしいと願っています。



## そらぐみ

職員が給食のコンテナを運ぼうとしていたのですが、道が狭くて通りにくそうにしているのに気付いたCさん。誰に言われるでもなく、そっとコンテナに手を添えて、人や壁にぶつからないように優しく誘導していました。さり気なく手を差し伸べられる優しさが素敵だなと感じました。

自分にとっての損得勘定でなく、思わず身体が動いてしまう。それが当たり前ができることが素晴らしいですね。